

J **apanese text**

2010年 秋/冬号 日本語編

正月

和＋洋の新年迎え

撮影＝小林庸浩 コーディネート＝甘露寺芳子
 文＝編集部

p.063

世界のあちこちで、冬のこの季節は、年末年始の行事を共に祝う親しい人たちの来訪に心浮き立つ特別な時期。空間デコレーター・甘露寺芳子さんによる温かで、新しい年迎えの喜びに溢れた、生活空間のシーンの数々を紹介する。

(p.063)

年迎え、魔除け、招福のしつらい

客人を出迎えるのは、おめでたい紅白の配色でコーディネートしたダイナミックなマグノリアとアマリスのリース。水引をきりりと結んで、豊穡の象徴、米俵を重ねたお飾りとともに。

床の間に見立て、改まる年に祈りを込める。吊り香炉に、大輪の菊と、茶の湯の伝統的な正月飾り「結び柳」を組み合わせて。お供え用の丸三方には、小さな「注連縄」が付いた墨飾りを。不浄を祓い、神様を迎え入れる聖域のシンボルだ。

右ページ・客間へと続く廊下の一角を、迎え花で華やかに演出。すっきりとした桐の桶に菊、紅梅、ワイルドフラワー、ベリを活けて。アンティークの雪洞(ぼんぼり)と、キャンドルの周りに紅白の注連縄をからませた、祝いのアレンジ。天井のランプには、ご縁を呼び込むシンボルとして宿木とベリを。

(p.066)

温かな灯りが作り出す、寿ぎの空間

上・冬でも緑の葉を茂らせる松などの常緑樹は、古くから若さ・不老長寿の象徴とされる。マグノリア、ラッパ水仙とのアレンジメントは、白と緑のコントラストが清々しい。

右・大ぶりのキャンドルスタンドに飾ったクランベリーと稲穂は、五穀豊穡のおめでたいモチーフ。注連縄は結界を張るという意味を持ち、その内側は清浄な空間とされる。いくつもの神聖な灯りが、集まってくれた家族や親しい人たちの、新たな年を照らし出す。

(p.068)

迎春の宴

シャープな印象の、あすなろのテーブルランナーの上には、蒔絵をイメージして色鮮やかな牡丹の花や、香木などを和紙に包んで手紙に添える、「文香」を散らす。白木や、拭き漆のお重の無垢な質感は、新しい年を迎える気持ちを高めてくれる。プレートや扇子に描かれている松や竹、梅の縁起のよい意匠は、洋のダイニング空間に、和の華やぎを添える。遊び心溢れる箸袋や、宿木でアレンジしたナブキンリングのマスコットには、十二支のうちの一つ、2011年の干支・うさぎのモチーフを。

p.069

「例えば欧米で祝うクリスマスと、日本のお正月迎えは、背景にある文化、風習が全く違う。でも宗教や精神性の違いはあっても、やはり共通するのは、家族、親戚が集まり温かい時を共に過ごす、一年の中でも大切なチャンスだということ。世界共通の、誰にとっても嬉しい季節ですね」

そんな心温まる集いのひとときが、空間デコレーター・甘露寺芳子さんのコーディネート の原点だ。

日本でももうおなじみになったクリスマスの行事だが、12月25日を過ぎると早、お正月迎えのムード一色に。いわゆる「年末年始」のこの時期は、前年の穢れを祓い、新たな年を迎える準備をする、独特の高揚感に包まれる。クリスマスの盛り上がりの余韻に浸りながら、新しい年の到来に胸躍らせる。今回は、そんな季節の祝いの喜びと「お正月迎え」をテーマにした、洋の空間に取り入れる和のコーディネートが披露された。

古来、世界の国々では自然への畏敬の念がさまざまな信仰、儀式という形となって受け継がれてきた。日本では自然界はじめ万物に八百万の神が宿るという考え方。正月は特に、新たな年の訪れを祝って、新しい年の神様――「年神様」など、いろいろな呼び名がある――を迎え、一年の幸せを祈願する。一年のうちでも特に晴れやかなのが正月の行事だ。掃き清められた家の内外に、年迎えの準備が整ったことを示す注連縄、神様が降臨すると考えられた、若木を使った依代や、餅や米などをお供えして神様をお祀りする縁起

物のお飾りなど、さまざまなシンボルが飾られる。

実はここに紹介するコーディネートに使用した草花のほぼすべてが、精巧な細工が魅力のアーティフィシャルフラワー。今、甘露寺さんが自身のインテリアコーディネートのアクセントとして最も得意としている素材だ。季節を問わずアレンジができたり、また時には生花ではなかなか表現できない色を効かせたり。洋の中に和、和の中に洋というコーディネートのバリエーション、楽しみ方も無限に広がる。

アーティフィシャルフラワーの青々とした若柳、松や竹など、不老長寿の象徴に願いを託し、神様をお祀りする。正月迎えの一つの心を表現しているようでもある。

注連縄、墨飾り、箸袋

あらかほらいどう
■ 荒木蓬菜堂

大阪府大阪市中央区高麗橋 2-4-12 Tel. 06-6203-6719

Email: arakihrd@smile.ocn.ne.jp

甘露寺芳子 (かんろじ・よしこ)

10年間のサンフランシスコ暮らしから帰国後、インテリア雑貨の会社「パフ株式会社」をオープン。独特の感性でセレクトした家具、インテリアアクセサリを紹介。個人住宅、商業スペースのインテリアデザインなどを多数手掛ける。

(p.070)

末永い幸福への祈りを込めて

左・注連縄や、白い和紙を折った紙垂しでと、稲穂を組み合わせ、クランベリーや宿木、柊で作ったおなじみのクリスマス・リースを、ひと味違った姿に。西洋・東洋問わず、「輪」は「永遠」を表すシンボル。新たな年に、末永い繁栄と健康を祈願する。

右ページ・リース作りを楽しむ庭のテラスの一角にも、ランプに活けたカメラア、和ろうそくで華やいだ演出を。

(p.070 下)

稲穂と橘は、どちらも秋の実りの象徴。稲穂を束ねたものを、苔を敷き詰めた陶の器にさり気なくアレンジして、豊穡を祈願する年迎えのしつらいに。

取扱店：

アーティフィシャルフラワー

■ パフ・フローラ

東京都渋谷区初台 2-30-11 1 階 Tel. 03-3370-4658

11:00 ~ 19:00 土日祝日定休